



キャンパスの環境に関する質問に答えます

学生が日常のキャンパス生活の中でふと感じた、キャンパスの環境に関する素朴な疑問に答えます。



南部食堂の横にある
植物園は何ですか？



東山キャンパスの博物館野外観察園です。約50年前から研究や教育用の植物を育てるために使われてきた実験圃場です。2016年4月より名古屋大学博物館が管理・運営することになり、一部は一般の方にも見学いただけるようになりました。4,320m²の面積があり、現在約700種の植物が見られます。年に2回行われる博物館野外観察園見学会では普段は入れない実験ゾーンを公開します。トンボが飛び交う池もあり、ハッチョウトンボも見られます。セミナーハウスでは季節に合わせた展示も行っています。



博物館野外観察園見学会の様子



キャンパス内には
どれぐらいの木が
ありますか？



本学が東山キャンパスで剪定維持管理している樹木について、2017年3月時点で1m以上の中木および高木は4,162本になります。なお、キャンパス内の道路から離れた風致地区^{*1}等については自然生え(木の实が落ちて自然に成長した自然林)のため、カウントはしていませんが、維持管理している樹木の5倍以上はあるかと推定します。

名古屋大学の 緑化率 ^{*2}	東山キャンパス：36.0%
	鶴舞キャンパス ^{*2} ：23.3%
	大幸キャンパス：24.5%

ちなみに名古屋市の緑被率^{*3}は22.0% (2015年度) ですので、名古屋大学はそれを上回る緑化率となっています。

※1：法により植物の伐採が制限される地区

※2：緑化率とは、建築物の敷地面積に対する緑化施設の面積の割合をいう。

※3：名古屋市の緑被率は、下記URLを参照しています。

<http://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/cmsfiles/contents/0000024/24621/27ryokuhi-result.pdf>



春でも落ち葉が多いのは
なぜですか？



落ち葉は秋のイメージが強いですが、植物の種類に応じて葉の落ちる時期が異なったり、またはサクラのように春に花が咲いた後、花びら等が落ちて夏に葉が生え変わるものもあります。キャンパス内道路で落ち葉が溜まって目に付くのは、主に強風とあわせて大雨が降ったりすると雨水とともに落ち葉が側溝に流れてあふれ出した後にかたまりが目に付いたり、ブロック塀などの構築物や建物に囲まれた場所の場合、風が集まってごみや落ち葉が特定の箇所に溜まりやすいという現象があるかと思われます。本学は建物が多い上、坂の多い箇所もあるため、両方が重なって目に付く場所があるかもしれません。



大雨が降った後の落ち葉



産業廃棄物の処分
経路はどのよう
なっていますか？



本学では、原則入札方式により落札された産廃許可業者と契約して産業廃棄物の処理依頼をしています。年度によって業者が変わることがあるため、収集および処分先が変わることもあります。生活上発生する可燃・不燃ごみ(一般廃棄物)は、自治体の指定処分場に持ち込まれるのに対して、事業所から排出される金属・プラスチックの大型備品のリサイクルや実験により発生したごみ(産業廃棄物)は市町村や県を越えて適正処理できる処分場に持ち込まれることもあります。一例として水銀処理は北海道に持ち込まれて最終処分されます。(なお、国外に廃棄する事は条約上禁止されています。)



学内から排出される廃棄物(例)



キャンパスの環境に関する質問に答えます

学生が日常のキャンパス生活の中でふと感じた、キャンパスの環境に関する素朴な疑問に答えます。



通学、通勤などで排出されるCO₂などの交通環境に対する取組は行われていますか？

交通分野においては積極的なCO₂対策は行われておりませんが、2016年度には駐車場入構料の値上げを行い、公共交通機関の利用を誘導しています。さらに現在はキャンパス内で超小型EVシェアリング実証実験(トヨタ先端パワーエレクトロニクス寄付研究部門による)を行い、自動運転技術の検証とともに学内交通における環境に配慮した移手段の普及検証を行っており、環境負荷の少ないキャンパスを目指しています。

また将来はキャンパスの外周部に駐車場を確保し、歩行者を優先した、安全で、美しいキャンパスを目指し検討しています。



超小型EVの充電ステーション



LED照明器具の設置はどのくらい進んでいますか？

東山キャンパスでは、2011年度から新営・大規模改修時には全館LED照明を標準仕様としており、既存建物についても省エネ推進経費などを使って照明設備のLED化を推進しています。

現在、東山キャンパス全体の31棟で全館LED化を達成しており、今後も順次LED化整備をしていく計画です。



LED照明器具の設置例



中央図書館前の池は何のためにあるのですか？

グリーンベルトは植栽や広場などの形に直線や円を用いた幾何学式庭園となっており、図書館前の池はその風景を構成する要素としてデザインされたものでしょう。また、意外にも多くのトンボの種が見られるなどキャンパスの生態系にも貢献しています。しかし、図書館前の池を含めたグリーンベルト全体として、老朽化も進み、繁茂する低木によって見通しが効かない、入りにくいといった問題もあり、キャンパスの中心にふさわしい集いの場としての再整備が検討されています。



中央図書館前の池



災害時の非常食の備蓄はありますか？

本学では、約3万食分の非常食および水を備蓄しています。ただしこれらは、帰宅困難者が発生した場合などの緊急時や、大学で災害対応を行うためのもので、25,000人以上の学生・教職員に対して十分な量ではありません。そこで学生・教職員の皆さんには、個人のかばんやロッカー、研究室単位、自宅などで緊急時の食料・水を備えておくをお願いしています。このことが一人ひとりの災害対応力向上にもつながります。



備蓄庫の状況